


みんなで……

- ・公害をなくしましよう
- ・木と花を植えましよう
- ・スポーツを楽しみましよう
- ・暴力を追放しましよう

No.53

44.10.20



見たり 聞いたり

茶の間読書運動を 広めよう

…図書館職員…

○月○日 今日は満員である。利用者が多くなるのはいいが、そのほとんどが学生である。しかも、テストや受験のためにあるのがわれわれ図書課員には物足りない。もつと一般の人が教養を高めるために利用してほしい。

○月○日 図書館では閲覧者への電話は緊急の時以外は取り継がないことにして

いる。ところが、なかには急用だといつて友だち同志で呼び出しをし、遊びの約束をしている人がいる。呼び出しをすると利用者全部に迷惑がかかる。本当に必要なとき以外は呼び出しは絶対にやめてもらいたい。

○月○日 きょうは自動車文庫が北部に行く日。勢子辻や大淵2小など町から離れた所に行くと特に喜ばれる。たくさん

の本を読んでほしいと思うとともに、も

つと自動車文庫を充実させたいと思う。そして、いろいろなグループの人たちに利用してもらいたい。

○月○日 きょうは読書会。○○さんの家で午前10時から志賀直哉の「和解」を取り上げて行なう。参加者は8人。月1回の例会も家庭婦人には大変かもしれないが、3年間にわたって多くの本を読破し、話題が多くなってきたのはうれしいことだ。

市立中央図書館

市立中央図書館は、昭和39年に工費6.000万円で水の上に建設されました。現在蔵書は42,000冊で、1日の利用者は平均230人くらい。昨年から自動車文庫をはじめ、地理的に恵まれない地域を重点的に巡回しています。また茶の間ひととき読書運動や読書会も行なっています。

【写真は自動車文庫の訪問に大喜びのこどもたち=大淵第2小】

富士地区大気汚染防止協力工場連絡会の設立総会が、10月1日、県製紙工業試験場で開かれました。この連絡会は、富士地区2市3町の36工場が、大気汚染の防止を企業の立場ですすめていくことを組織したもので、当日は役員の選出、事業計画や予算案の認定などが行なわれ、会長に斎藤了英大昭和製紙社長が選ばされました。

この連絡会は、大気汚染法に指定された富士地区の2市3町（富士市、富士宮市、富士川町、蒲原町、芝川町）の関連工場36社で組織されています。

加入した36工場は、いずれも重油の使用量が日量10トン以上の事業所で、行政機関が公害防止対策を積極的にすすめているおりから、企業自身も汚染防止に積極的に取り組もうと、連絡会を組織したものです。

これからの事業計画としては…。

- ・関係行政機関との連携協力
- ・大気汚染防止対策に関する調査研究および情報の交換
- ・低イオウ燃料の確保
- ・ばい煙減少計画の策定
- ・緊急時対策の連絡、協力体制の整備
- ・その他目的を達成するに必要な事業の

推進を定め、公害のない健全な地域社会づくりと、「公害のない企業」の実現をはかつていくものです。

この事業計画のうち、低イオウ重油の確保では、すでに石油業界へ積極的に働きかけ、低イオウ重油の共同購入に乗り出しています。

また、緊急時対策の連絡、協力体制の整備では、各地区ごとにブロックをつくり、市内の場合はブロックごとに幹事役の連絡中継工場を選びました。この中継工場は市公害課から警報がでると、ただ

ちに各工場に連絡し、各工場はばい煙減少計画によつて、イオウ酸化物の減少につとめます。

【写真は10月1日に開かれた富士地区大気汚染防止協力工場連絡会の設立総会=県製紙工業試験場】



イオウ酸化物の測定には3種類の方法があります。

平常時測定（いつでも行なつている測定）、準備測定（平常時の測定で1カ所の測定値が0.2PPm以上であるか、2カ所の測定値が0.1PPm以上の場合の測定）、緊急時測定（汚染警報が発令されているときに行なう測定）の3種類です。

以上の測定によつて、大気の汚染が次の状況になつたときに第1種警報が発令されます。

①2カ所以上の測定点で、0.2PPm以上の状態が3時間以上続いたときと、0.3PPm以上の状態が2時間以上続いたとき、48時間の平均値が0.15PPm以上になつたとき。

②1カ所の測定点で0.5PPm以上になつたとき。

さらに事態が悪化し、次の状況になると第2種警報が発令されます。

- ・前記の①の場合に1カ所以上の測定点で0.5PPm以上になつたとき。
- ・前記の②で0.5PPmの状態がさらに1時間続いたとき。

この第1種および第2種の警報が発令されると、報道機関に連絡し市民みなさんに周知するようにしていきます。

また、第1種および第2種の警報が発令されると、県は排出工場に対し、排出量を減少するよう協力を求めます。減少の協力を求める工場にはあらかじめ協議された「ばい煙減少計画書」にもとづいて、第1種警報の場合は2割、第2種警報の場合は5割のばい煙量の減少を呼びかけることになります。なお警報が発令

されたら各家庭でも必要なもの以外の燃焼をしないようにしてください。警報を解除するときは、第1種および第2種の警報が発令されたあとで、すべての測定点で発令基準以下になつたときは、警報は解除されます。この場合も前記の報道機関に連絡し、市民みなさんに周知します。

この緊急時対策は44年3月から実施されていますが、新庁舎にテレメーターが設置されなければ、自動的に警報が発令されるようになります。ですから、それまでの間は毎日だされるイオウ酸化物自動記録計のデーターによつて、県公害課が必要と認めたときに警報が発令されます。発令された場合は、県公害課から各市町の担当課へ連絡があり、各市町の担当課から主要工場へ連絡するしくみになつています。

イオウ酸化物の測定結果

—43年9月～44年8月—

冬期に高濃度の汚染が出現

富士地区の大気汚染の昭和43年9月から昭和44年8月までの測定結果がでました。

この測定は、市内7カ所と富士宮市2カ所、富士川町1カ所の計10カ所で行なった自動記録計によるイオウ酸化物の調査結果です。

測定結果の特色として、汚染度の月別推移をみると各測点とも冬期の11月から翌年1月にかけて上昇しています。田子浦背後地でも年間を通じて汚染度が高くなっていますが、とくに冬期にはこの傾向がより多くみられ、元吉原中学校ではこの期間中の月間平均値が0.1PPmをこえています。

冬期の高濃度出現は、おもにおだやかな北風のときで、しかも夕方から翌日の午前中にかけて多く発生しています。これは、逆転層の出現が関係していることも想定されますが、くわしくは今後の気象調査によつて明らかになると思います

元中など6測点で環境基準をこえる

さきごろ厚生省が定めた環境基準とくらべてみると、5条件を満していない測点は吉原3中、元吉原中の2カ所で、これについて富士保健所が4条件を満していません。このほか、文化センター、勤労青少年会館、鷹岡事務所も含め、田子浦背後地の6測点が環境基準をこえています。

それでは市内7測点の調査記録をみてみましょう。年間の平均（環境基準は0.05PPm以下）は富士保健所が0.067PPm、文化センターが0.052PPm、吉原3中が0.060PPm、勤労青少年会館が0.047PPm、大淵中が0.030PPm、

鷹岡事務所が0.057PPm、元吉原中が0.077PPmとなっています。

0.2PPm以下の時間数（環境基準99%以上）は、保健所98.6%，文化センター99.8%，吉原3中98.4%，青少年会館99.8%，大淵中100%，鷹岡事務所99.7%，元吉原中92.4%となっています。

0.05PPm以下の日数（環境基準は70%以上）、保健所が29.0%，文化センターが41.8%，吉原3中が37.4%，青少年会館が58.0%，大淵中が90.3%，鷹岡事務所が29.0%，元吉原中が31.2%となっています。

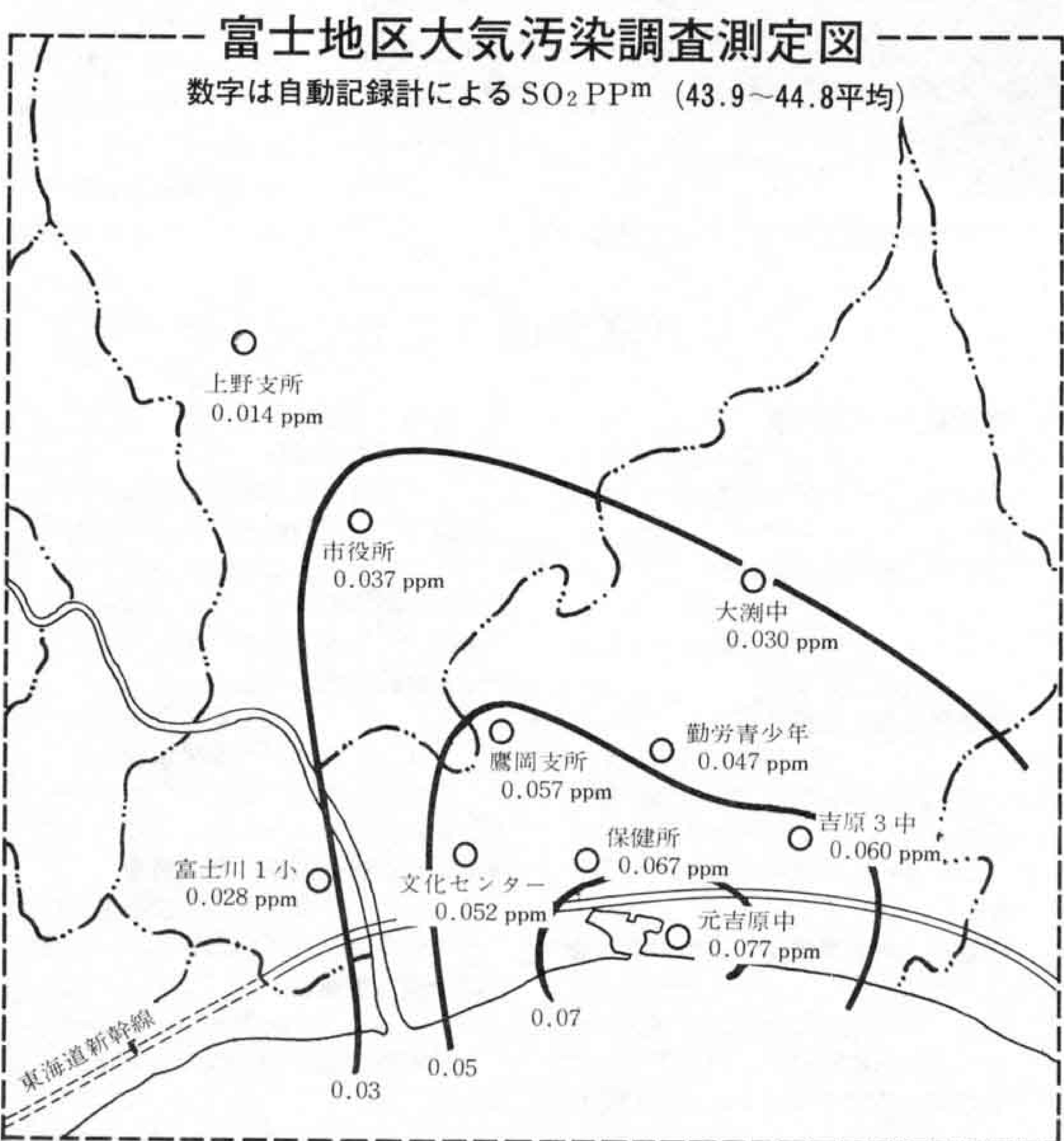
0.1PPm以下の時間数（環境基準は88%以上）は、保健所が71.6%，文化センターが91.7%，吉原3中が84.8%，青少年会館が94.7%，大淵中が99.1%，鷹

岡事務所が91.7%，元吉原中が66.7%となっています。

高濃度汚染の出現日数（環境基準は3%以下）は、文化センター、青少年会館大淵中はいずれも0%，保健所は0.95%，吉原3中は3.3%，鷹岡事務所は0.2%，元吉原中は11.8%という結果がでています。

これから対策としては、田子浦背後地を重点に各企業に対し、燃料の低イオウ化、煙突など施設の改善を具体的に指導していきます。

また、冬期の高濃度汚染に備え、新庁舎にテレメーター（自動監視装置）を設置し、緊急時体制を整備していくとともに、気象調査など資料を集め、汚染の実態を明らかにしていきます。



9月定例市議会

一般会計に3億9871万円を補正

各会計補正予算など16議案を可決

市議会9月定例会は9月29日から6日間の会期で開かれ、当局から提出した昭和44年度一般会計補正予算、土地開発基金条例の制定など15議案を慎重に審議した結果、いずれも原案どおり可決しました。なお、欠員中の副議長には厚生委員長の服部国太郎氏が選ばれ、厚生委員長の後任には遠藤松吉氏が就任しました。

昭和44年度一般会計補正予算は、3億9,871万円を追加し歳入歳出の予算総額は57億4,816万円になりました。

補正されたおもなものは、歳入では市税が2億7,311万円、地方交付税が2,000万円、諸収入が5,543万円、国庫支出金

が1,135万円などです。歳出は土木費が2億1,123万円、総務費が1億6,413万円、商工費が2,084万円、消防費が2,132万円などです。

歳出のうち土木費は2億1,135万円ですが、おもなものは伝法原田線などの道路新設改良費に1億1,345万円、早川橋の改良に201万円、旭化成東側水路の改良に1,300万円、木の宮公園の整備に515万円、田子浦鷹岡線などの街路事業費に1,121万円、市営住宅の建設に5,021万円、などを追加しました。

総務費は1億6,413万円ですが、これは公共事業を円滑に行なうため「富士市土地開発基金条例」を制定したのにともない



【増改築のきまつた元吉原小学校】

9月議会のうごき

■県東部地区議長会

(4日・富士宮市・議長出席)

県議長会への提出議案について討議しました。

■経済、観光合同委員会

(11日・鷹岡公民館)

夏まつりの反省と改善すべき点について討議しました。

■総務委員会協議会

(16日・市民会館)

元吉原小の火災復旧と改築、市営球場の処分、旧吉原伝染病舎の敷地一部貸与について当局の説明を聞きました。

■富士川火力発電所対策特別委員会

(17日・市民会館)

富士庵原地区公害対策懇談会のその後の経過について、大手工場との公害防止協定について、請願の取り

扱いについて協議しました。

■県下市議会議長会

(18日・清水市・議長出席)

県道改良事業の地元負担金の廃止について、公共用地先行取得債の許可基準の緩和の要望についてなど8議案について協議しました。

■庁舎建設特別委員会

(19日・本庁会議室)

ブラインドおよび救助袋設置工事について当局の説明を求め、工事現場の視察を行いました。

■身延線複線化対策特別委員会

(20日・本庁会議室)

身延線西回りの開通記念について

■議会運営委員会

(26日・市民会館)

9月定例市議会の日程について協議しました。

副議長に
服部(國)氏



市議会9月定例会で、欠員中の副議長選挙が行なわれ、服部国太郎氏(65歳・森島125)が賛成多数で当選しました。

服部新副議長は、昭和22年に富士町議会議員に就任してから町議2期市議5期(特例2期)をつとめ、この間、議長、副議長、厚生委員長、総務委員長、富士バイパス特別委員長、富士駅改修特別委員長などの要職を歴任してきました。

なお、服部氏が副議長に就任したのにともない、厚生委員長を辞任したので、委員の互選により遠藤松吉氏(54歳・広見町3)が新しく厚生委員長に選ばされました。

その基金1億3,500万円がほとんどをしめています。

商工費は2,084万円ですが、このうち公害対策費が1,781万円で、新庁舎へ設置されるテレメーターの負担金、排煙脱硫装置の研究補助金などにあてられています。

消防費は2,132万円ですが、新庁舎の建設にともないハシゴ車を2,100万円で購入します。

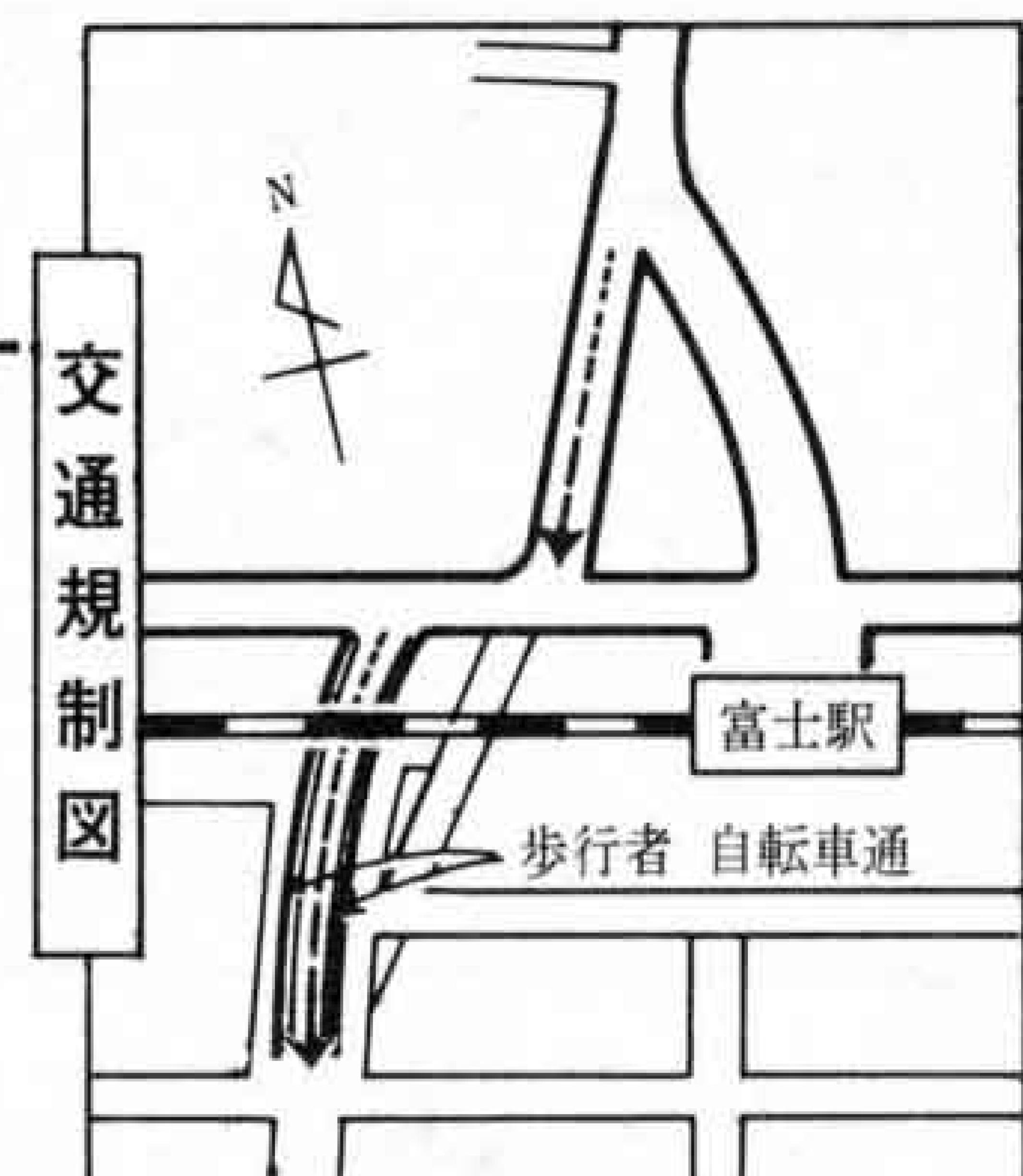
なお、元吉原小学校の増改築は、債務負担行為で、今年度から2カ年継続事業で工費6,080万円で行ないます。新校舎は鉄筋3階建てで、延面積は1,534平方㍍、普通教室12教室がつくられます。

このほか、下水道事業特別会計、土地区画整理事業特別会計、病院事業会計など10会計の補正も行なわれました。

また、土地開発基金条例は、公共事業を円滑にすすめるため、用地の先行取得を目的に制定されたものです。基金は1億3,500万円です。

住居表示審議会条例の一部改正は今年度から今泉・原田地区で新住居表示を実施するにともない、区域が広いので委員の定数25人を28人としたものです。

市道路線の廃止は、水戸島東芝線の上徳間地先105㍍を廃止したものです。



加島地下道が開通

畜産公害の防止に 新施設がおめみえ

…玉置農林政務次官らが視察…

豚や牛などの家畜による「畜産公害」は、大企業による産業公害ほど大きな問題にはなりませんが、周辺の住民や飼育農家にとつては深刻な悩みになっています。とくに豚のし尿は人間の約5倍の排出量があり、この処理対策が問題になっています。

こうしたおりから、種豚団地である市内次郎長に「牛・豚し尿肥料化装置」ができ、10月15日、玉置農林政務次官、斎藤市長ら関係者が視察しました。

この装置は、牛や豚のし尿を肥料成分の多い乾燥粉末にするという、全国でも珍しいもの。特色としては、水を一滴も必要としない。他の方法とくらべせまい敷地でもできる。臭気は脱臭装置によつてほとんど取り除か

れる。生産される肥料は肥効力が大きいなどがあげられています。

今まで、牛や豚のし尿はほとんど水でうすめて河川に放流していましたが、さきごろ三重県で水質が汚濁し、大きな問題になりました。

こうしたおりから、この牛・豚し尿肥料化装置がこれからの畜産公害防止策としておおいに期待され各方面の注目を集めています。玉置次官ら関係者は、畜産公害もなくなり、しかもし尿から肥料ができるなど、処理方法などに熱心に聞き入つていました。



【各方面の注目を集めている『牛豚し尿肥料化処理装置』の説明を聞く玉置次官=右から2人目】



紅葉の山ろくを ハイキング

…若妻学級と青年学級が…

紅葉の山ろくで野外学習をと、若妻学級と青年学級の合同ハイキングが10月10日、大淵丸火で行なわれました。

参加者は富士、須津、原田、大淵の若妻学級生と富士青年学級生これにこどもたちも加わり総勢約150人。ハイキングコースは、大富士ゴルフ場前から青少年の家までの3キロ。秋の草花を観賞しながら、全員元気に歩きぬき、青少年の家に到着。青少年の家では若妻と娘さんの話し合い、ハンゴーすい飯などで野外学習の成果をあげました。

あしらせ



巡回婦人相談所を開設

…11月11日・富士宮市民会館で…

県は巡回婦人相談を次のように行ないますので、家庭問題などで相談ごとのある婦人はおでかけください。

■とき

44年11月11日 午前10時から午後3時まで

■ところ

富士宮市民会館（富士宮浅間神社横）

*当日は家庭裁判所、福祉事務所などの専門家が助言、指導にあたります。

安全運転競技大会

山川工業チームが連続優勝

第3回安全運転競技大会は、33チームが参加して10月13日、中央自動車学校で行なわれ、山川工業チームが昨年に続き2年連続優勝しました。

この大会は、秋の交通安全運動の一環として行なわれているもので、年ごとに参加者も増え、今年は女性ドライバーチームの参加もありました。

競技は、各職域から推せんされた3名でチームを編成し、法令と実技のテストを行ないました。成績は次のとおりです

米の通帳が新しくなります

米穀通帳が11月1日から新しい通帳になります。新しい通帳は各事務所市民課または各支所で交付しています。古い通帳だと配給米が受けられなくなります

彦根市から水戸市へ 『白鳥』がおコシ入れ

…斎藤市長の仲立ちで…

『白鳥』のおコシ入りの引渡し式が、10月15日、富士インターチェンジで行なわれました。

このおコシ入りした白鳥は、滋賀県彦根市の彦根城の名物で、茨城県水戸市の偕楽園へ贈られたものです。

桜田門の変（1860年）に彦根藩主井伊直弼が水戸浪士に刺殺されてから、両市はなかたがいとなっていましたが、明治百年を機会に昨年10月に仲直り。これをきっかけに白鳥が親善使節としておコシ入れすることになったもので、両市の中間にあたる富士市で

引き渡し式が行なわれました。

『引き渡し式』に立ち合つた斎藤市長は「この白鳥を友好の仲立ちとして、いつまでもなかよくしてください」とのべ彦根市の遠藤観光課長から水戸市の森田観光課長に白鳥のつがいが渡され式を終わりました。

なお、白鳥は水戸市偕楽園の千波湖に放されることになっています。



【斎藤市長の仲立ちで白鳥の前で握手をかわす彦根、水戸の両市代表=富士インターチェンジで】

■優勝 山川工業（株）

■準優勝 日産自動車（株）

・3位 東京電力（株）・4位 松本為吉商店 5位 富士財務事務所



【優勝した山川工業チーム。左から杉山正さん、杉山武雄さん、鈴木旭さん。】

で、早めに切り換えの手続きをとるようにしてください。

なお、配給精米のことで苦情、相談ごとをおもちの人は「配給精米相談所」へおでかけください。相談所は、各食糧事務所出張所（中央町1、中里八幡町、上横割）にあります。

第3回総合文化祭が11月1日から開く

……文化センター
吉原市民会館
鷹岡公民館で……

第3回富士市総合文化祭が11月1日から文化センター、吉原市民会館、鷹岡公民館の各会場で行なわれますので、多数観賞におでかけください。

■演劇 11月1日午後6時から9時まで 文化センター

■音楽 11月2日午前10時から午後5時まで 文化センター

■園芸の展示 11月1日、2日 文化センター

■短歌会 11月9日 午前10時から午後4時まで 鷹岡公民館

*このほか、13日から16日まで展示されるのは市民会館で盆栽、書道、写真、華道、ミシン。文化センターで華道、防火ポスター、美術、郵便趣味。鷹岡公民館で水石、華道があります。時間はいずれも午前9時から午後5時までです。